

新技術の提案(様式2-1)

NO. H27C-1-5

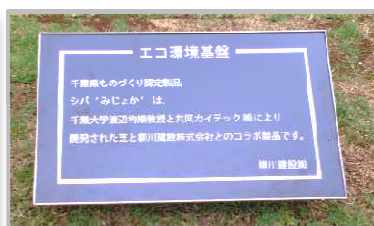
作成日 平成27年 7月 3日

分野	1. 土木	工種	1. 共通			
技術の名称	エコ環境基盤		NETIS 番号			
副題(商標名等)			登録(申請)年月日			
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の□をチェック下さい)					
	<input checked="" type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等が開発したもの。				
	<input type="checkbox"/>	県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの				
効果	右番号から選択	1 コストの縮減	6 施工性の向上	分類	右番号から選択	
	4,5,6,7	2 安全性向上	7 その他		効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください	1 工法
		3 品質の向上	1.2			2 材料
		4 工期の短縮				3 機械
		5 環境				4 情報
				5 その他		
開発者 (提案者)	会社名	柳川建設株式会社				
	住所	千葉市中央区宮崎町452	TEL	043-264-5236		
問合せ先	会社名	柳川建設株式会社				
	担当部署	代表取締役社長				
	氏名	柳川智明				
	住所	千葉市中央区宮崎町452				
	TEL	043-264-5236	FAX	043-264-5238		
	E-mail	t.yanagawa1023@gmail.com				
<p>概要 エコ環境基盤 (千葉ものづくり認定製品)</p> <p>本製品は、当社とストーンワークス社とが共同開発した火砕流堆積物を素材とした緑化用ブロックである。多孔質素材で空気や水分を含み(含水率50%以上)、保水性や熱を伝えにくい性格を持つ。尚且つ緑化に用いる際には、300,500mmの盤上に10mmほど土を敷き、芝生を育成するため軽量であり、人手で施工出来る特徴を持つ。</p>						
<p>特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 雑草管理に優れ雑草除去費が軽減され尚且つ、芝生の育成に適している 2. 軽量で屋上緑化に適し、短工期で施工が出来る。 3. 保水性・透水性に優れていて水やりが軽減される。 4. 基盤の上に芝生を育成させている為、車椅子で走行が可能。 						
<p>施工方法</p> <p>平面緑化の場合、整地後抜根シートを敷き保水マット設置後基盤を設置する。 屋上緑化の場合、耐根フィルム敷き保水マット設置後基盤を設置する。</p>						
<p>施工・材料単価(従来との比較)</p> <p>18,000円/㎡程度。</p>						
<p>適用条件・範囲</p> <p>平面、法面、屋上と壁面以外施工可能です。</p>						
<p>施工・使用後の環境への影響</p> <p>天然素材(火砕流堆積物)で出来ている為環境にやさしく、ヒートアイランド現象に効果が高く、保水性・透水性に優れているため、ゲリラ豪雨対策になる(日刊工業新聞記事)</p>						
<p>施工・使用上の留意点</p> <p>あらゆる場所での施工が可能ですが、技術的な検証分析も含め、弊社責任施工で行う。植物を使用するため、千葉大学環境フィールドとの連携により管理したい。</p>						
<p>実績状況(相手先、件数など)</p> <p>京葉銀行津田沼支店 柏市役所別館前 城西国際大学F棟屋上</p>						
<p>その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)</p> <p>特許第3858079号 平成25年度千葉ものづくり認定製品(認定番号105)</p>						



エコ環境基盤を利用した緑化プロジェクトで都市の課題を解決

導入事例：京葉銀行 津田沼支店



植物共同研究開発の継続中の千葉大学環境健康フィールド科学センター 渡辺均准教授が開発した芝生「みじよか」使用

導入事例：柏市役所



導入事例：城西国際大学

